

みんなで創ろう

# 豊かな奥州市 副都

## 新生奥州市 政策宣言

豊かな行政経験  
決断と実行



市民の皆様との約束

# 相原まさあきマニフェスト

H18.2.20(奥州市誕生の日)

## 新生奥州市政策宣言

### － 相原まさあきのマニフェスト －

#### 決意(mind)

平成の大合併の流れの中で、この胆江地域では、水沢市・江刺市・前沢町・胆沢町・衣川村が決断し、それぞれ 50 年、100 年の歴史に幕を引いて大同合併しました。

建郡されておおよそ 1200 年が経つ、胆沢郡と江刺郡の大部分が遂に合流するという意味では、まさに歴史的な出来事と言えらると思います。

その結果、人口規模では、県都盛岡市に次ぐ規模となり、農業・工業・商業の産業力においても県内有数の規模を有するに至りました。

今後、来るべき都道府県合併による道州制時代をも見据え、県内のみならず、東北の中核的都市を目指して、この機を逃さずに、強力な新市を創っていかねばならないと考えます。

このような時に当たり、私は、郷里奥州市のために、また、この合併を導いた首長の一人として、市民の皆様とともに、豊かな力強い新市を建設していこうと強く決意致しました。

これまで長年、県行政(企業局長等)や滝沢村(助役)において培ってきた知識・経験と国・県・市町村・民間の人的ネットワーク、さらには市長経験者としての実績と見識を活かしつつ、ふるさと奥州市の夢と希望の実現のために、全力をあげて取り組みます。

このマニフェスト(政策宣言)は、こうした決意を具体的に実行するために、可能な限り、数値を掲げながら政策を明示し、後に市民が、実績に照らして首長を評価しやすいようにするものであります。

もとより、法定合併協議会で承認された新市建設計画を尊重し、これを基礎としつつ、新生奥州市のリーダーとしてのビジョンを明確にアピールするためのマニフェストです。

[説明] マニフェストとは、もともと政党が選挙において、有権者に対して、政権像とともに具体的な政策の実行案を示した政策集で、政権期間中にどれだけ達成できたかを国民が監視し、検証を可能とする形式で発表されるものです。

選挙公約の多くは、「あれもやります、これもやります」式的具体性のない願望リストに留まっていますが、これに対して、マニフェストは、数値をもって具体的に記述している点が特徴です。

今回の市長選挙に臨むに当たり、私は、このマニフェスト方式を採用し、いわばローカル(地方)・マニフェストを提示したいと考えました。このマニフェストは、市民の皆様と私との約束になるものです。

### 3つの基本姿勢(stance)

#### 1 清新で公正、かつ、透明性の高い市政

しがらみのない、清新で公正な市政、情報公開の徹底による透明性の高い市政を実現します。

#### 2 対話の市政・市民主体(生活者起点)の市政

市民の皆様との対話を大切に、市民が中心となる市民主体の市政(生活者起点の市政)を基本とし、市民からの意見提言を市政に反映させ、市民総参加のまちづくり・むらづくりを進めます。

#### 3 民間経営感覚・企業家精神の行政への導入

市民の視点から、行財政改革を強力に進めるため、民間人の登用、行政部門への企業参入など民間経営感覚・企業家精神を積極的に導入します。

### 5つの戦略目標(strategy)

#### 1 農・工・商のバランスのとれた発展と旧五市町村域の均衡発展戦略

長年の基幹産業である農業と工業・商業のバランスの良い発展を図りつつ、農村部と都市部さらには、旧五市町村域の平等発展・均衡発展を目指します。

#### 2 副県都構築戦略

人口規模県下第二の都市奥州市を名実ともに副県都とするための施策を行います。

5市町村の合併により、人口13万3千人で農業生産力を始め、強い産業力を有する県下第二の都市を構築することになりました。

まず、こうした基盤を活かし、さらに行政や産業の中核的機能を集中させて副県都を構築していきます。

#### 3 知識集積型の都市づくり戦略

パソコン、インターネットなどの情報化の新しい波を積極的に市民生活・活動に取り入れるとともに、大学や高度な研究機関と提携し、その知的ノウハウを活かしながら、新技術導入による産業振興や新事業・ベンチャー企業創出、さらには生活文化の向上に役立てる知識集積型の都市づくりを行います。

また、自動車関連産業の一大拠点化を実現します。

#### 4 新教育都市戦略

ヨーロッパでは、都市は、大学とともに成長してきたともいわれます。13万都市を学生のあふれる学術文化のまちとし、さらには高校・専門学校の高度化、特

色化を図り、子弟の教育の向上に結びつけていきます。

こうした大学の誘致等を含め、教育と芸術文化・スポーツを盛んにし、新しい教育都市づくりを進めます。

## 5 子育て環境ナンバーワン戦略

少子化対策は、これから若者の定住を促進し、人口集積を図りながら、新しい地域づくり・都市づくりをする上で最重要となるものと考えます。安心して生み育てられる環境づくりを強化し、“子育てするなら奥州市で”となるよう総合対策を推進します。

### 政策宣言(policy)

全体編と地区別編とします。

#### 全体編

##### 政策1 副県都の構築

【目標】 岩手県の県都盛岡に準ずる都市機能を集積し、東北の中核都市への展望に繋がるように施策を推進します

【方法】 国・県・公共的団体の拠点的功能、さらには全県レベルの企業や団体の本社・本部機能の奥州市立地を一つずつ具体化します。

【期限】 2年以内に副県都構築構想を樹立し、具体化に着手(運動展開など)

【財源】 1,000千円(構想策定・運動経費)

##### 政策2 自治基本条例の制定

【目標】 自治体運営の基本を議会と協議のうえ、条例の形で市民に明らかにし、約束します。

【方法】 重要課題について、あらかじめ市民の意見聞く仕組みや、特別の案件について市民投票制度を設けることなどを内容とした自治基本条例を制定します。

【期限】 2年以内

【財源】 500千円(検討会議経費など)

##### 政策3 NPN(ニューパブリックマネジメント)の推進

【目標】 住民のニーズを反映した行政改革を協力的に推進します。

【方法】 行政改革の手法であるNPN(ニューパブリックマネジメントと呼び、成果主義、顧客主義などを中心とする考え方)推進計画を定め、全庁をあげて取り組みます。

- [期限] 1年以内  
[財源] 1,000千円(職員研修経費など)

政策4 民間からの管理職登用

- [目標] 市行政に企業感覚を積極的に導入します。  
[方法] 民間から公募の形で市の管理職に登用します。  
[期限] 2年以内  
[財源] 特になし

政策5 市長交際費の全面公開

- [目標] 行政の透明性を一層高めます。  
[方法] 市長交際費は、相手方を含めて100%公開します。  
[期限] 直ちに  
[財源] 特になし

政策6 コンビニ等で市税や水道料金等の支払いができる仕組みの確立

- [目標] 身近な場所で、公共料金の支払いができるようにします。  
[方法] コンビニ等で市税や水道料金等の支払いができる仕組みを確立します。  
[期限] 2年以内  
[財源] 100千円(18年度検討協議経費)

政策7 市場化テストによる民間への業務開放の本格導入

- [目標] 市場化テストは、「官」が独占してきた公共サービスを官と民間事業者の競争入札(官民競争入札)にかけ、コストと質の両面で、優れた方に任せる制度ですが、これを積極的に導入し、行政サービスの向上に結びつけます。  
[方法] 「市場化テスト積極導入プラン」を策定し、導入を進めます。  
[期限] 2年以内  
[財源] 特になし

政策8 知識集積型の産業都市づくり

- [目標] 情報化の波を積極的に活用するとともに、先進的大学や中核的研究施設の知的ノウハウを生かした産業興しを推進し、さらには市民(NPO含む)によるコミュニティビジネス興し支援などを活発化させ、新しい都市の魅力とパワーを構築し、産業の発展と新たな人口の集積に結びつけていきます。  
[方法] 大学又は中核的研究機関との産学官連携事業を強化しながら、産業支援機能の招致を実現し、教授、研究員の常駐の下に、地場産業の新技术導入・

新規研究開発力の強化、新事業創出、ベンチャー企業の創出などの施策を強気に展開します。

また、パソコン、インターネットなどを活用しやすい環境を整えるとともに、産学官連携機能を活用しながら、市民(NPO 含む)の地域づくりとも連動させたコミュニティビジネス興し支援を行います。

【期限】 就任後直ちに行い、4年以内に仕上げ

【財源】 500千円(18年度の構想立ち上げ経費分)

#### 政策9 どぶろく特区の取得

【目標】 この地方に古くから伝わるどぶろくの製造販売を通じて、観光客増大などに結びつける。

【方法】 構造改革特区である「どぶろく特区」を取得します。

【期限】 2年以内

【財源】 特になし

#### 政策10 歴史・文化を活かしたブロック別市街地の活性化対策

【目標】 新しい発想で、中心市街地を活性化させます。

【方法】 各区の中心市街地、特に水沢区について、小ブロックに区切った形で歴史文化等と関連づけ、地元若手グループの主体性を引き出す中で、具体的リニューアルを果たし、集客力を回復させていきます。

【期限】 4年以内

【財源】 1,000千円(18年度構想策定経費)

#### 政策11 四年制大学の誘致を実現

【目標】 ヨーロッパでは、都市は、大学とともに成長してきたともいわれる。13万都市を学生のあるる学術文化のまちとし、子弟の教育の向上につなげます。

【方法】 千葉県銚子市における千葉科学大学(薬学部・危機管理学部を平成16年度開学)の誘致事例などを参考に、四年制大学の誘致を実現し、文教都市創りを推進します。

【期限】 5年以内

【財源】 1,000千円(18年度のプロジェクト立ち上げ経費分)

#### 政策12 小学校からの英会話教育の推進

【目標】 国際共通語と化しつつある英語の実践力を強化するため、小学校からの英会話教育を推進します。

【方法】 小学校における初歩の英会話教育を実践するため、専門の担当員を配置します。

【期限】 2年以内

【財源】 5,000千円(非常勤の2人分の人件費等)

#### 政策 13 世界文化遺産登録と関連観光事業・ニュービジネス興しの推進

【目標】 平成20年度の平泉の世界文化遺産登録を実現しつつ、関連観光事業等を推進します。

【方法】 世界文化遺産登録を実現しつつ、前沢町白鳥館遺跡、衣川村長者ヶ原廃寺遺跡を中心としたコアゾーンの観光振興・ニュービジネス興しを図ります。

【期限】 4年以内

【財源】 500千円(18年度構想策定経費)

#### 政策 14 子育て環境ナンバーワンづくり

【目標】 安心して生み育てられる環境づくりを強化し、“子育てするなら奥州市で”となるよう総合対策を推進します。

【方法】 幼稚園と保育所の一体的運営、学童保育の対象拡大、第1子よりも第2子、更に2子よりも第3子を保育料等の面で優遇する制度、病後時保育体制整備、女性の出産・育児にかかわる就業環境の改善など、子育て環境ナンバーワンづくり方針を樹立し、さらに2年以内にその具体化を図ります。

【期限】 2年以内

【財源】 500千円(18年度検討協議経費)

#### 政策 15 学童保育、病後児保育の充実

【目標】 現在、希望しても近くにないために利用できない学童保育や預かるところが少ないために家族頼みとなっている病後の子供の保育の問題を解決します。

【方法】 小学校低学年を対象とした学童保育を必要とする全地区で行います。また、病後児保育制度を確立します。

【期限】 2年以内

【財源】 22,000千円(18年度学童保育10箇所拡充分12,000千円、病後児保育委託分10,000千円)

#### 政策 16 元気老人の健康の増進と交流の場づくりの推進

【目標】 介護保険のお世話にならない元気老人の健康の増進と交流の場づくりを推進します。

【方法】 空き家となった民家等を借用し、デイサービスの機能を持たせた施設を設置し、NPO 等に運営を委託して実施します。

【期限】 2 年以内

【財源】 10,000 千円(2 箇所分の委託費など)

#### 政策 17 小規模サービス施設の設置促進

【目標】 高齢者に要望の多いサービスの拡充を促進します。

【方法】 空き家等を利用して、10 人程度の規模で NPO 等が行う小規模サービス施設の設置を支援します。

【期限】 2 年以内

【財源】 2,500 千円(5 箇所の設置支援経費)

#### 政策 18 障害者が運営するコーヒーショップ等の設置の応援

【目標】 知的障害等の障害者の社会参加と自立を支援するため、コーヒーショップなどの設置を援助します。

【方法】 公共的施設への設置などを応援します。

【期限】 2 年以内

【財源】 500 千円(諸経費)

#### 政策 19 広域市町村合併の推進

【目標】 東北の中核的都市の形成を目指し、広域市町村合併を推進します。

【方法】 同じ胆江広域圏の一員であり、ゴミ処理などを共同で行っている金ヶ崎町との合併について、同町の事情に配慮しながら、双方の理解と合意を前提に、推進します。

また、古来から関係が密接で、世界文化遺産登録でも共同歩調を取り、相互支援の関係にある平泉町との合併について、関係自治体の意見を聞きながら、双方の理解と合意を前提に、検討を開始します。

【期限】 1 年以内に開始

【財源】 500 千円(18 年度の協議・検討経費)

#### 政策 20 いわゆる「1%条例」の奥州市版としての「0.4 (オーシュウ) %条例」の制定

【目標】 市民が、税の使途に直接参画することにより、納税者としての意識や市政



参加意識を高める。

- 【方法】 市民税の0.4%分(約12百万円)をNPOなどの市民活動の支援に充てることとし、市民が事業の内容を投票(郵送や電話、インターネットなど)で決めることを条例化します。
- 【期限】 2年以内に条例制定
- 【財源】 制定に関しては、とくになし。1%分の財源の捻出については、既存の事業をスクラップ(新事業に振り替える)して生み出すものとします。

#### 政策 21 女性登用率のアップ

- 【目標】 男女共同参画社会にふさわしい女性登用を図ります。
- 【方法】 市役所関係のいわゆる女性登用率を40%台の水準に高めます。
- 【期限】 4年以内
- 【財源】 特になし

#### 政策 22 オープンガーデンの街づくり

- 【目標】 オープンガーデンを各地に広め、花と潤いのある空間を創出し、散策マップを作りながら、市内観光スポット・ラインとして育てます
- 【方法】 オープンガーデンの街づくり計画を策定し、推進します。
- 【期限】 1年以内
- 【財源】 1,000千円(18年度奨励補助経費)

#### 政策 23 空き家を活用したIターン(アイターン)誘導・二地域居住の推進

- 【目標】 中山間地域の農家などの空き家を活用し、Iターン(アイターン)者を誘導し、地域の活性化に結びつけます。
- また、都市住民が、定期的・反復的に農山村に滞在する「二地域居住」を同様の観点から、推進します。
- 【方法】 空き家とその活用に関する総合情報を発信するとともに、「揺りかごから墓場まで」の生活情報について、必要なサポートを行い、Iターン(アイターン)者を積極的に誘致する。
- また、「二地域居住」を支援します。
- 【期限】 2年以内
- 【財源】 1,000千円(18年度推進事業費)

## 地区別編

合併協議における新市建設計画を基にした施策(事業)をお示しします。

### 1 安心して暮らせるまちづくり

保健・医療・福祉の充実に関する政策の一部を掲げます。

#### 政策 24

水沢区： 21年度までに保健センター、障害児通園センター、老人福祉センター、在宅介護支援センター機能を持つ、保健福祉市民センター施設整備事業を行います。

事業費は、20億円程度を見込み、国の補助金のほか、約9割を地方債(国などからの借り入れ)で充てます。

#### 政策 25

江刺区： 20年度までに保育所(1箇所)の改築事業を行います。

事業費は、1億円程度を見込み、国の補助金のほか、約7割を地方債で充てます。

#### 政策 26

前沢区： 18年度に幼稚園と保育所を統合して、新設する事業を行います。

事業費は、4億円程度を見込み、国の補助金のほか、約8割を地方債で充てます。

#### 政策 27

衣川区： 18年度に幼保一体化施設の整備として、衣川保育所・子育て支援センター建設事業を行います。

事業費は、2億円程度を見込み、約3割を国の補助金、残り7割を地方債で充てます。

### 2 未来にはばたく人を育てるまちづくり

教育・文化・スポーツの振興に関する政策の一部を掲げます。

#### 政策 28

水沢区： 23年度までに小学校校舎改築事業(1校)を行います。

事業費は、7億円程度を見込み、約5割を国の補助金、残り5割を地方債で充てます。

政策 29

江刺区： 23 年度までに小学校校舎改築事業(1 校)を行います。

事業費は、14 億円程度を見込み、約 3 割を国庫支出金、約 6 割を地方債で充てます。

政策 30

前沢区： 19 年度までに白鳥館遺跡を世界遺産登録し、保存する事業を行います。

事業費は、1 億円程度を見込み、約 5 割を国庫支出金、約 3 割を地方債で充てます。

政策 31

衣川区： 21 年度までに中学校建設事業(1 校)を行います。

事業費は、8 億円程度を見込み、約 2 割を国庫支出金、約 7 割を地方債、約 1 割を一般財源で充てます。

3 地域の特性を活かしたまちづくり

(1) 農林業の振興の事業の一部を掲げます。

政策 32

水沢区： 19 年度までに農業用水再編対策事業(県営事業)として、かんがい排水事業を行います。

事業費(負担金)は、3 千万円程度を見込み、9 割以上を地方債で充てます。

政策 33

江刺区： 23 年度までに県営土地改良事業として、経営体育成基盤整備事業を行います。

事業費(負担金)は、1 億 5 千万円程度を見込み、9 割以上を地方債で充てます。

政策 34

前沢区： 24 年度までに経営体育成の県営圃場整備事業を行います。

事業費(負担金)は、3 億円程度を見込み、9 割以上を地方債で充てます。

政策 35

胆沢区： 21 年度までに、農業協同組合を事業主体として、高性能農業用機械、近代化施設等の整備に対する支援を行う農業生産総合対策事業を行います。

事業費は、11億円程度を見込み、全額国庫支出金で充てます。

政策 36

衣川区： 27年度までに、森の学校、水環境の再生、都市住民の林業や農産物の体験交流を内容とした事業を行います。

事業費は、3千万円程度を見込み、約5割を国庫支出金、約4割を地方債、約1割を一般財源で充てます。

(2) 商工業の振興の事業の一部を掲げます。

政策 37

水沢区： 18年度から22年度まで岩手大学工学部附属鑄造技術研究センターの新技术応用研究部門(サテライト)の運営を支援する工業鑄物高度化事業を行います。

事業費は、5千万円程度を見込み、全額一般財源で充てます。

政策 38

江刺区： 19年度に産業支援・交流センター整備事業を行います。

事業費は、4億円程度を見込み、全額地方債で充てます。

(3) 観光の振興の事業の一部を掲げます。

政策 39

水沢区： 23年度までに優良建築物等整備として、まちづくり事業(1箇所)を行います。

事業費は、1億6千万円程度を見込み、約5割を地元負担、約4割を地方債、約1割を一般財源で充てます。

政策 40

江刺区： 19年度に芸術文化に関する先人を顕彰する施設を整備し、市街地の活性化や観光振興を図るため、郷土先人記念館整備事業を行います。

事業費は、3千万円程度を見込み、全額地方債で充てます。

3 快適でゆとりのあるまちづくり

生活基盤の整備促進ですが、事業の一部を掲げます。

政策 41

水沢区： 24年度までに歴史的街なみの再生とともに、生活環境の向上を図るため、まちづくり事業街なみ環境整備事業(1箇所)を行います。

事業費は、2億7千万円程度を見込み、約5割を国庫支出金、約4割を地方債、約1割を一般財源で充てます。

政策 42

江刺区： 21年度まで継続し、情報通信基盤整備として、光ファイバー網を敷設します。

事業費は、16億円程度を見込み、ほぼ全額を地方債で充てます。

政策 43

前沢区： 18年度に JR 前沢駅の鉄道東西交流通路設置を内容とするふるさとづくり事業を行います。

事業費は、3億円程度を見込み、約6割を地方債、約4割を一般財源で充てます。

政策 44

胆沢区： 27年度までに初期消火体制を充実させるための施設整備として、コミュニティ消防センター、防火水槽、ポンプ自動車等を整備する防災まちづくり事業を行います。

事業費は、3億円程度を見込み、9割以上を地方債で充てます。

政策 45

衣川区： 19年度までに橋梁整備事業(1箇所)を行います。

事業費は、2億円程度を見込み、約3割を国庫支出金、残り7割を地方債で充てます。

5 自然と共生する美しいまちづくり

自然環境の保全・循環型社会の形成ですが、事業の一部を掲げます。

政策 46

江刺区： 21年度までに農業・農村の資源活用及び周辺環境整備を行いながら、都市と農村の共生・対流事業を行います。

事業費は、2億円程度を見込み、それぞれ約5割を国庫支出金と地方債で充てます。

政策 47

衣川区： 25 年度までに世界文化遺産登録に向けたコアゾーン候補地として、長者ヶ原廃寺史跡国指定用地買収事業を行います。

事業費は、2 千万円程度を見込み、約 8 割を国庫支出金、約 2 割を一般財源で充てます。

6 みんなで創る自立したまちづくり

住民参画・協働の地域社会創出ですが、事業の一部を掲げます。

政策 48

水沢区： 市民の利便性の高い中心市街地にある既存建物を再利用し、新市の市民活動の拠点となる施設として、市民活動支援センター整備事業を行います。27 年度まで継続して実施します。

事業費は、3 億円程度を見込み、それぞれ約 5 割を国庫支出金、一般財源で充てます。

政策 49

江刺区： 21 年度までに、地域づくり活動の拠点となる地区センターの改築整備事業(2 箇所)及び地区センター駐車場整備事業(1 箇所)を行います。

事業費は、2 億 5 千万円程度を見込み、9 割以上を地方債で充てます。

政策 50

胆沢区： 18 年度に地区公民館の整備に助成するコミュニティシンボルづくり補助事業を行います。

事業費は、3 千万円程度を見込み、それぞれ約 5 割を県支出金、一般財源で充てます。

## 相原市政（江刺市長 H15.3～H18.2）で実施した新しい施策

1	対話の市政
	市長とのトークデーの毎月開催
	地区懇談会を16年度4回、17年度2回開催
	市広報での「こんにちは市長です」の毎月実施
	市長出前講座
	職員との意見交換会の実施
2	透明性の高い市政
	情報公開の推進
	定例記者会見の開催
	市長交際費の公開
	未来の都市を創る市長の会を設立し主宰。また江刺市ほかでの開催を実施
3	市町村合併の実現
4	産業の振興
	江刺フロンティアパークへの企業誘致
	岩手大学との相互友好協力協定締結
	えさし車座研究会の発足
	NHK大河ドラマ「義経」のメインロケ地決定に対応したえさし藤原の郷のリニューアルオープン
	まちの魅力を「FM ウォーク in えさし」で発信
5	健康福祉の充実・安心できる暮らしの確保
	幼保一体化施設・稲瀬わかば園の開園
	手話通訳者の市役所への設置
	江刺市洪水避難地図（洪水ハザードマップ）を作成
	知的障害者によるコーヒースョップの市役所内の設置
	視覚障害者への「声の広報」ボランティア活動（毎月）
	結婚支援相談員の設置
6	生活基盤の整備
	市設置管理型合併浄化槽事業の創設
	I（アイ）ターン者等への住宅取得優遇制度の創設

7	教育・文化・スポーツの振興
	江刺市教育振興基本指針を策定
	小中学校で市長の課外授業
8	地域づくりと人づくり
	江刺市総合計画「えさし未来創造2014」を策定
	地区センター構想をスタートさせる
	田原、梁川両地区センターを改築
	地域活動推進特別事業補助金で魅力ある地域づくり
	コミュニティビジネス（地域の事業起し）などの創出支援
	一村一地域づくり運動の推進
	グレーターシェパトン市への公式訪問と交流再開
	農家民宿推進のための構造改革特区の取得
	NPO活動への支援制度の創設
9	情報化・環境施策
	携帯電話不感地帯の解消
	木質バイオマスエネルギーの活用研究
	市役所全職員で「クール・ビズ」対応
	エコオフィス・パワーアップ運動の実施
10	行財政改革・市民参画の推進・職員の意識改革
	市経営戦略会議を開催
	江刺市行財政構造改革プランの策定と実行
	職員倫理憲章の制定
	市民参画を目指したパブリックコメントの導入
	広報えさしと市営バスに企業広告
	男女共同参画プランを策定
	市長等の決裁権限の内部委譲を拡大
	市長から職員への手紙発信
	職員によるボランティア奉仕活動の実施（草刈りなど）